

第139回 ふじのくに防災学講座

- 日 時 令和3年12月18日(土) 午前10時30分～正午
- 開 催 静岡県地震防災センター2階ないふるホール(静岡市葵区駒形通5丁目9-1)

テーマ 「緊急被ばく医療～放射線事故に備える～」

講 師 浜松医科大学 地域医療学講座 特任准教授 まつい つとむ 松井 務 氏

(講演概要)

日本の緊急被ばく医療は、第五福竜丸事故を契機に国内の学術的基盤が整備され、その後のいくつかの事故対応を経てその体制と機能を充実させてきた。

緊急被ばく医療とは、どのような医療なのか？

放射線の性質や特徴を踏まえた通常の救急医療との違いを解説し、更に、原子力施設に関する防災対策にとどまらず、社会で広く利用されている放射線に関する取扱い事故まで含めた緊急被ばく医療の必要性について考える。

